

報告番号	開催日	時間	要請団体	会場	受益者人数	イベント名称	担当		講演内容等	備考
							エリア	責任講師等		
1	5月30日(月)	14:00~16:00	水戸市放課後学級運営生進学習倶楽部	児童保育 ジュニアハウス あいくるふ	生徒、教職員	児童及び管理者等に対する地震対策	県央	加瀬孝雄、浅野秀蔵	放課後児童保育の児童を対象に、地震から命を守る行動について、イラストを多く取り入れた内容とクイズ形式で、AI機能によりAIが説明した。クイズでは、前半の20分間は小学生向けの地震編を上映し、後半の約10分間はクイズ形式で要点を整理終了した。最後に児童に理解の程度を確認するとともに防災について親子で話し合せて置くことの重要性を説明。	実施報告済
2	6月2日(木)	14:00~16:00	茨城県南生進学習センター(第1回)	茨城県南生進学習センター	県南地区希望者	16名 地域を守る防災対策講座	県南央	飯弘幹、松井秀夫、飯島美善雄、林昌子	講義「災害に備え我が町を知る(身を守る備え)」と段ボールベッド作成	実施報告済
3	6月8日(木)	14:00~16:00	茨城県南生進学習センター(第2回)	茨城県南生進学習センター	県南地区希望者	16名 地域を守る防災対策講座	県南央 県南東	永倉善代、飯田哲雄、松井秀夫、内田一久、飯島美善雄、林昌子、澤田孝一	災害向上訓練(DIG)ゲームを通じて、災害を理解する-	実施報告済
4	6月18日(土)	10:00~12:00	茨城県東西生進学習センター(第1回)	茨城県東西生進学習センター	県西地区希望者	33名 令和4年度 現代的課題対策講座(12)	県西	安東正好、矢野靖彦、藤島悦子、吉田久美子	1. 敵神・茨路大震災から学ぶ 45分 DVD 2. 地震に対する100の備え 10分 パワーポイント 3. 地震発生時におけるべき行動 10分 パワーポイント 4. 迫る大地震にどう立ち向かうか 40分 DVD 5. 令和3年10月被災地視察報告 10分 講義	実施報告済
5	6月19日(日)	9:00~11:10	城里町石塚地区防災フェア実行委員会	城里町常北公民館及び駐車場	石塚1区~5区、新町区、石塚西区、同西A区、同西B区の9区住民	50名 石塚地区防災フェア2022	県央	染谷吉明、渡辺平	救命救命避難体験、防災クイズ、避難所開設運営研修、消火器使用など ①液状化現象の模擬体験 ②地震プレーヤーの模擬体験	実施報告済
6	6月23日(木)	14:00~16:00	茨城県南生進学習センター(第3回)	茨城県南生進学習センター	県南地区希望者	16名 地域を守る防災対策講座	県南央	榎田信子、松井秀夫、飯島美善雄、林昌子、内田一久	避難所の開設 準備編 避難所を開設するノウハウを学ぶ-	実施報告済
7	7月2日(土)	10:00~12:00	茨城県東西生進学習センター(第2回) 茨城県教育委員会	茨城県東西生進学習センター	県西地区希望者	33名 令和4年度 現代的課題対策講座	県西	安東正好、矢野靖彦、藤島悦子、吉田久美子、小田切幸子	①災害避難管理について講義 ②防災バツグを作る(グループに分かれ、対象者に必要な物をポストイットに記入(女性避難者用、乳幼児避難用、高齢者避難用))	実施報告済
8	7月5日(火)	13:15~14:50	つくば市立小野川小学校	つくば市立小野川小学校3年生教室	小学3年生1組、2組 教員	46名 小野川小学校防災教室	県南	永倉善代、飯田哲雄、大竹秀明	夏休みの宿題に出される「防災バツグ」作成のヒントとなる講演内容を行った。つくば市及びつくば市近隣の過去の災害について知り、自分たちの安全のためにどのような行動をとり、身の安全を守るのかを知り、確認を行った。実践として、クイズ(おぼえい)クイズを「避難所」についてクイズも応用ができる物を防災バツグに入れておけば便利であること話す。茨、茨路大震災のとき近隣の人が助けを求めた時の話をし、同じく被災した「被害者」(お)を出して自分の住居所を救ってあげよう、等の話を行った。その際、普段から挨拶も大切と話した。	実施報告済
9	7月8日(金)	15:00~17:00	水戸市解放学級・放課後こども教室運営生進学習倶楽部	水戸市立吉浜小学校放課後教室	低学年対象 生徒、教職員 40名×2教室	60名 児童及び職員に対する地震対応講話	県央	加瀬孝雄、浅野秀蔵	放課後児童保育の児童を対象に、地震から命を守る行動について、イラストを多く取り入れた内容とクイズ形式で、AI機能によりAIが説明した。クイズでは、前半の20分間は小学生向けの地震編を上映し、後半の約10分間はクイズ形式で要点を整理終了した。最後に児童に理解の程度を確認するとともに防災について親子で話し合せて置くことの重要性を説明。	実施報告済
10	7月7日(木)	14:00~16:00	茨城県南生進学習センター(第4回)	茨城県南生進学習センター	県南地区希望者	16名 地域を守る防災対策講座	県南央	林昌子、飯島美善雄、藤田信子、松井秀夫、永倉善代	避難所運営ゲーム 避難所を開設訓練:HUGで問題対処法を学ぶ-	実施報告済
11	7月7日(木)	13:00~14:30	茨城県立大子特別支援学校	県立大子特別支援学校(大子町研嶽3602)	中学部13名 小学部14名	37名 防災宿泊	県北	福地壽之、柴田美智子	1. 展示 防災バツグ・防災食・ランタンサーなど車で入るものを中心に展示し質問に答える 2. 災害時におけるトイレについて災害時のトイレの使い方について図形パワーポイントを使い、紙幣を見せる学校で用意した段ボール製トイレに座った 3. 段ボールベッドを小学部と中学部に分け作成する床・ダンボール・ダンボールベッドでの寝たときの違いを体験する 4. 災害時に少ない水で手を洗う経験をペットボトルに加工して少ない水で手を洗う	実施報告済
12	7月8日(金)	15:00~17:00	水戸市解放学級・放課後こども教室運営生進学習倶楽部	水戸市立吉浜小学校放課後教室	高学年対象 生徒、教職員 40名×2教室	60名 児童及び職員に対する地震対応講話	県央	加瀬孝雄	放課後児童保育の児童を対象に、地震から命を守る行動について、イラストを多く取り入れた内容とクイズ形式で、AI機能によりAIが説明した。クイズでは、前半の20分間は小学生向けの地震編を上映し、後半の約10分間はクイズ形式で要点を整理終了した。最後に児童に理解の程度を確認するとともに防災について親子で話し合せて置くことの重要性を説明。	実施報告済
13	7月11日(月)	15:30~17:00	水戸市解放学級・放課後こども教室運営生進学習倶楽部	水戸市立浜田小学校放課後教室	生徒、教職員	60名 児童及び職員に対する地震対応講話	県央	加瀬孝雄	放課後児童保育の児童を対象に、地震から命を守る行動について、イラストを多く取り入れた内容とクイズ形式で、AI機能によりAIが説明した。クイズでは、前半の20分間は小学生向けの地震編を上映し、後半の約10分間はクイズ形式で要点を整理終了した。最後に児童に理解の程度を確認するとともに防災について親子で話し合せて置くことの重要性を説明。	実施報告済

14	1	7月14日 (木)	16:00 ～ 17:00	水戸市解放学級・放課後こども 教室運営生涯学習倶楽部	水戸市立城東小学校 放課後教室	生徒、教職員	35名	児童及び職員に対する地震対応 講話	県央	加藤孝雄、染谷吉明	2	放課後生涯学習の児童を対象に、地震から命を守る行動について、イラストを多く 取り入れた内容でクイズ形式で、A組によりが説明した。 クイズ形式では、前半の約20分間は小学生向けの地震編を上映し、後半の約10分間は クイズ形式で要点を整理し終了した。 最後、児童に避難の程度を確認するとともに防災について親子で話し合っ て置くことの重要性を説明。	実施報告済
15	1	7月21日 (木)	14:00 ～ 16:00	茨城県県南生涯学習 センター(第5回)	茨城県県南 生涯学習センター	県南地区希望者	16名	地域を守る防災対策講座	県南央	松井秀夫	1	自主防災活動のまとめ -課題のまとめと自分自身のタイムライン- -選い キットを使用	実施報告済
16	1	7月21日 (木)	8:30 ～ 11:20	笠間市立笠間小学校	市立笠間小学校教室 (笠間市笠間2889-1)	小学生5年生 (32名×4組)	128名	避難所運営ゲーム(HUG)研修	県央	加藤孝雄、小川欽也 市野沢伊司、渡辺平 本田佳行、相羽謙子 松本博典、岡野博 染谷吉明	9	HUG研修を実施。参加者は、小学5年生の児童128人を対象に1日当たり班7人 構成で10班で実施。 参加者が小学生のため45分程度でトイレ休憩を入れてHUGを実施。 各組には、防災士又は5年生担任教師が付くこととし、カード読みは先生に依頼 し、児童の各班の進捗を確認しカードの読み間違いスピードを調整して貰った。 最後にHUG研修の意見交換と感想等について班の代表者に簡単に発表して貰っ た。 HUGのやり方説明後にハザードマップの見方・分散避難の必要性・コロナ対策の 避難所レイアウト等について簡単に説明。 ふりがなバージョンHUGカードの使用により、親しさが緩和された様子。	実施報告済
17	1	7月22日 (金)	8:30 ～ 11:20	笠間市立笠間小学校	市立笠間小学校教室 (笠間市笠間2889-1)	小学生5年生 (32名×4組)	128名	避難所運営ゲーム(HUG)研修	県央	加藤孝雄、小川欽也 市野沢伊司、渡辺平 本田佳行、相羽謙子 松本博典、岡野博 染谷吉明	9	HUG研修を実施。参加者は、小学5年生の児童128人を対象に1日当たり班7人 構成で10班で実施。 参加者が小学生のため45分程度でトイレ休憩を入れてHUGを実施。 各組には、防災士又は5年生担任教師が付くこととし、カード読みは先生に依頼 し、児童の各班の進捗を確認しカードの読み間違いスピードを調整して貰った。 最後にHUG研修の意見交換と感想等について班の代表者に簡単に発表して貰っ た。 HUGのやり方説明後にハザードマップの見方・分散避難の必要性・コロナ対策の 避難所レイアウト等について簡単に説明。 ふりがなバージョンHUGカードの使用により、親しさが緩和された様子。	実施報告済
18	1	【延期】 7月28日 (火)	13:00 ～ 15:00	水戸市解放学級・放課後こども 教室運営生涯学習倶楽部	水戸市立吉田小学校 放課後教室	生徒、教職員	80名	児童及び職員に対する地震対応 講話	県央	加藤孝雄、染谷吉明 船橋淳宏		1) 地震対応で児童に対する啓発防止(1～6年生) 2) 避難行動のとりに方について(乳が無いので)	延期
19	1	7月30日 (土)	10:00 ～ 12:00	茨城県県南生涯学習 センター(第3回) 茨城県教育委員会	茨城県県南 生涯学習センター	県西地区希望者	33名	令和4年度 現代的課題対策講 座	県西	安東正好、矢野博彦 青木英千代 吉田久美子	4	1. 今回の講演時間が2時間と短かったため DIG(災害図上訓練)の第一段階に ついて災害図上訓練の目的と手法を前半の時間を使い講話 2. DIGの第二段階(身動型災害対策を考える)と体験学習室(地図を使って身近な 災害対策を考える)を5グループに分かれて「災害発生時緊急避難者の救出」に ついて優先順位を決める体験学習を実施した。「自助」「互助」「共助」について 各グループ発表をした。	実施報告済
20	1	7月31日 (日)	10:30 ～ 11:00	常総市・つくばみらい市	つくばみらい市立 小絹中学校	常総市市民 ・つくばみらい市 市民	155名	広域避難訓練	県南 県西	荻野悦男	1	NPO法人茨城県防災士会 荻野防災士が「避難所と日頃のそなえ」のテーマで講 演を行った。 *延長の為、短縮要請で分任給	実施報告済
21	4	8月1日(月) ～ 8月31日(水)	随時	茨城県教育庁学校教育部 保健体育課(茨城県教育委員 会)	動画視聴によるオン ライン ニング	[WEB配信]国立、 私立、公立学校 (幼稚園、認定こ ども園含む)学校 安全担当者 各市町村教育委員 会並びに各教育 事務所の学校 安全担当者	800名	令和4年度 安全教育指導者研修	県央	加藤孝雄、染谷吉明 岡野博、船橋淳宏	他	1)学校において、コロナ禍で実際に未経験な地震や避難訓練による水害が起 きた場合等での実効性のある避難訓練の方法や対応について、また、登下校中 等に災害が起きた場合でも、児童生徒が自分の命は自分で守れるような、行動の 準備や日頃の備え等、注意すべきことなど(自助) 2)コロナ禍で実際に学校が避難所となった場合の学校や先生の対応の仕方(復 旧分)や注意すべきこと。また、児童生徒が避難所でも役立つことなど(共助) 令和4年度安 全指導者研 修実施要項 (確定版)による YouTube動画	
22	1	8月7日 (日)	10:00 ～ 12:00	茨城県県南生涯学習 センター	茨城県県南 生涯学習センター	小学生4～6年生 と保護者	20名	夏のこども体験教室	県西	松田義章、鶴見悦子	2	小学校高学年の親子10組(20名)が参加し、親子で防災について学んだ。防災士 会が所有するDVDを視聴し、自ら命を守る大切さを伝えた。 *夏休みの中でできる防災クイズを実施し、非常時の創意工夫に ついて伝えるときに、日常から防災を考える大切さを伝えた。	実施報告済
23	1	8月19日 (金)	14:00 ～ 16:00	水戸市解放学級・放課後こども 教室運営生涯学習倶楽部	水戸市立三の丸小学 校 放課後教室	生徒、教職員	35名	児童及び職員に対する地震対応 講話	県央	加藤孝雄、林昌子 吉田洋、鈴木正治	4	放課後生涯学習の児童を対象に、地震から命を守る行動について、イラストを多く 取り入れた内容でクイズ形式で、A組によりが説明した。 クイズ形式では、後半の約20分間は小学生向けの地震編を上映し、前半の約10分間は クイズ形式で要点を整理し終了した。 最後、児童に避難の程度を確認するとともに、防災について親子で話し合っ ておくことの重要性を説明した。 クイズ終了後、時及地震対応バーボ終了時に参加した防災士からそれぞれ コメントを頂いた。 職員については、避難場所までの誘導コース、名簿により児童の人数を把握する 。自分の命、児童の命を守るための訓練の重要性を訴えた。	実施報告済
24	1	【延期】 8月23日 (火)	13:00～ 13:50～ 14:40～	水戸市解放学級・放課後こども 教室運営生涯学習倶楽部	水戸市立瀧門小学校 放課後教室	生徒、教職員	130名	児童及び職員に対する地震対応 講話	県央	加藤孝雄、染谷吉明 船橋淳宏		1) 地震対応で児童に対する啓発防止(1～7年生) 2) 避難行動のとりに方について(乳が無いので)	延期
25	1	9月9日 (金)	10:30 ～ 12:00	土浦市立真鍋小学校 (土浦市真鍋4-3-1)	土浦市立真鍋小学校 体育館	生徒、教職員 (小学4年生×4ク ラス)	150名	9月9日「まなべ防災の日」講話	県南央	藤田信子、坂弘敏 林昌子	3	～自分たちができることを考えよう～土浦市の防災事例から学ぶこと(映像・防災 クイズ等)を交えて *避難小学校は4年生、4年生、6年生が「まなべ防災の日」の行事をそれぞれの 授業の一環として位置づけ実施しており、2年生は地域安全消防団、6年生は土 浦市消防本部が担当した。 *内容 1.講話 坂弘敏防災士パワーポイントを使用し、「しんがくるまに」と、土浦のハザ ードマップや、先入(色川議員)の専門建設に係る説明を行った。 2.クイズ 権田防災士パワーポイントを使用した茨城県消防庁のクイズを実施。 3.防災グッズ作り 林防災士 新聞紙の「スリッパ作り」 *一室に体育館で実施したが、生徒の態度がとても良く、実施する側として和や かにしかを感じずもってて下さることが出来た。 *学校のプロジェクトの経験が不鮮明で、少し残念だった。 親子で防災について学ぶ。家庭学習とその保護者を対象とした親子参加型の講 座と防災グッズの手作り体験 1. DVD: あさりちゃんと学ぶ地震への備え 2. (1)クイズ(災害時の行動) (2)新聞紙を使った「スリッパ作り」体験 (3)ゴミ袋を使った「ポンチョ作り」体験	実施報告済
26	3	9月10日 (土)	10:00 ～ 12:00	家庭教育推進協議会	八千代町農村環境 改善センター	親子10組程度	20名	子育て支援事業 まっくとスペース	県西	矢野博彦、安東正好 染谷ユミ	3	親子で防災について学ぶ。家庭学習とその保護者を対象とした親子参加型の講 座と防災グッズの手作り体験 1. DVD: あさりちゃんと学ぶ地震への備え 2. (1)クイズ(災害時の行動) (2)新聞紙を使った「スリッパ作り」体験 (3)ゴミ袋を使った「ポンチョ作り」体験	実施報告済
27	3	【中止】 9月23日 (金)	13:00 ～ 17:00	茨城新聞社、日本赤十字社茨 城県支部	茨城県立白浜少年自 衛の家(行方市白浜 466)	県内在住の家族( 子ども含む)30組 120名	家族で体験! BOSAIキャンプ	県南東	澤田幸一、岡野博		1)投ボールで復元づくり 2)新聞がスリッパに大变身、降雨体験車や体験クイズ、救急法、火起こしなどの 各種体験	中止	

28	3	【中止】 9月24日 (土)	8:40 ～ 12:00	茨城新聞社・日本赤十字社茨城支部	茨城県立白浜少年自然の家(行方市白浜1466)	県内在住の家族(子ども含む)30組120名	120名	家族で体験！BOSAIキャンプ	県南東	澤田孝一、岡野 博	1)避難所運営ゲーム・マイタイムライン作成 7/28現地行合せ 8/10既報先から中止連絡あり。	中止
29	1	9月28日 (水)	10:15 ～ 12:00	東海村白方自治会 (防災・防犯組織)	東海村白方コミュニティセンター	自治体	25名	R4年 研修会(白方区自治会防犯防災委員会)	県央	加藤孝雄、染谷吉明 渡辺 平	1)大規模災害への備えとして、総務省の南相模トラフ地震のビデオを見た後、地震のメカニズム緊急地震速報、土地の成り立ちを知る。茨城県地震被害想定調査報告書、地域の防災組織と活動まとめとして正常性バイアス、排他性バイアス、同調性バイアス等を講義した。災害への備えとして、我が家のタイムラインの作成見本を受講生に配布し、家族で備えについて語り合うことを要請防災士が説明。茨城県の地震被害想定調査報告書の震度6弱以上5弱等色分け分布図について質疑応答があった。配布資料として、茨城新聞・茨城放送共著の「防災ハンドブック」30部提供した。	実施報告済
30	1	9月29日 (木)	14:50 ～ 16:30	水戸市解放学級・放課後こども教室運営生涯学習委員会	水戸市立吉田小学校放課後教室	生徒、教職員	86名	児童及び職員に対する地震対応講話	県央	加藤孝雄、相羽晴子 小杉 進	1) 地震対応で児童に対する怪我防止(1～6年生) 2) 避難行動のとり方について(机が無いので)地震が発生したと行動する。ビザ及びシーツを使用しツイズで正解を求め理解を深める地震発生時の3問クイズは、児童も積極的に参加し、集中してクイズに答えるなど、教員として驚きと喜ぶ。	実施報告済
31	1	10月6日 (水)	8:35 ～ 9:20	つくば市立竹園西小学校 (つくば市竹園2-19-4)	つくば市立竹園西小学校体育館	生徒、教職員 (小学3年生×4クラス)	112名	防災教室	県南	今井健之、田中 寿	なぜ防災ハックが必要なの？つくばスタイル防災の一環として「防災グッズ」の重要性を主として講義。 ・竹園西小の3年生を対象に防災基礎知識講義と持ち出し防災グッズを紹介、展示して全員の手に触らせた。 ・「避難は1ワークシートを用い「災害とは」、「防災ハック」に必要な物の説明。持ち出し防災リュックの重さ体験を含め、参加者の講義であった。 2) ①水、②携帯電話、③ガソリンの説明の他、防災リュックの中身を紹介・地震ローグテスト「ダンゴ投入れ」、修繕途中の準備会、webサイト紹介会などとも間かいた環境整備が必要と感じた。 ・まずは身近なところから防災・減災の心構えが大切。 ・防災士としての役割(ガソリン補給)など、この機会に身近な防災対策を改めて点検したいと感じた。	実施報告済
32	1	10月8日 (土)	14:00 ～ 16:30	茨城県防災・危機管理課ぼうさい大学(水戸会場)	茨城県トラク協会 (水戸市見川町2440-1)	一般者	147名	令和4年度茨城県ぼうさい大学「気象庁ワークショップ」	県央	加藤孝雄、染谷吉明 渡辺 平 大仁仁徳、工藤康弘	ぼうさい大学において気象庁ワークショップの字低いマイタイムラインの普及で受講者間にも避難への考え方で格差が出た。これは防災士間でも同じ様に感じ、今後いっそう広がるのではと感じた。対面が難しいwebツールも活用したスキルアップ勉強会も、webサイト紹介会なども間かいた環境整備が必要と感じた。 ・まずは身近なところから防災・減災の心構えが大切。 ・防災士としての役割(ガソリン補給)など、この機会に身近な防災対策を改めて点検したいと感じた。	実施報告済
33	1	10月15日 (土)	14:10 ～ 15:10	茨城県防災・危機管理課ぼうさい大学(水戸会場)	茨城県トラク協会 (水戸市見川町2440-1)	一般者	150名	令和4年度茨城県ぼうさい大学(水戸会場)	県央	加藤孝雄、松井秀夫	ぼうさい大学において「防災士の役割と活動内容の紹介」について講話。 1)加藤理事長の挨拶、 2)半理事の講話 1.最近の災害 2.防災白書 3.防災士とは 4.茨城県防災士会の組織 5.活動内容の紹介	実施報告済
34	1	10月30日 (日)	9:00 ～ 11:30	古河市消防防災課	古河市三和地域交流センター (古河市仁連2065)	地域自治組織	50名	古河市地域防災訓練	県西	矢野靖彦、染谷ユミ 吉川清徳、飯沼洋平 松田健章、佐野裕男 笠野浩治、飯田ふじ子 飯沼康子、平岡内良恵 飯沼美加子、安藤正好 青木美千代、渡丈夫 小田切華子、関口法子 鶴見悦子	地震自治組織の代表者に参集いただき、DIG訓練を実施した。 この自治体は古河市内でも水害の少ない地域であるため、クワイアットの古河市からも地震に特化したDIGを実施してほしいとの依頼に応じ、これに対応したプログラムで実施した。 水害も少なからず発生し、主要交通網が断れる危険性があらかじめ見えてきたため、これらの情報についても研修内容に盛り込んだ。 昔から地域コミュニティが確立している地域であり、自分たちの地域外であっても災害時には手助けし、備えようという防災意識が非常に高い地域であった。 今回防災士会からも今まで経験の少ない申込ごころが主体となり各グループのアドバイザーを行うとともに、新規加入者も一緒に訓練を学ぶことができた。	実施報告済
35	2	11月2日(水) ～ 11月3日(木・祝日)	10:00 ～ 18:00	北関東連絡協議会 (防災士)	名取市震災メモリアル公園 (名取市開上東3-3-1)	栃木県 群馬県 茨城県 (防災士)	156名	令和4年度北関東連絡協議会東「治二日」	全エリア	加藤孝雄、安藤正好 横田信子、福地壽之 高橋邦夫	-名取市震災メモリアル公園視察 -震災復興伝承館視察 -石巻市見学 -みやぎ県立大震災津波伝承館視察 -牡鹿半島経由での震災伝承記念視察見学	実施報告済
36	1	11月2日 (水)	9:45 ～ 11:50	水戸市立大場小学校 (茨城県社会福祉協会)	水戸市立大場小学校 (水戸市大場町2499)	小学生4年生19名 6年生20名	45名	避難所運営ゲーム訓練	県央	小川欽也、染谷吉明 本田佳行、船橋雅宏 松本謙典、相羽晴子 岡野 博、野上大介	11月2日午前中(6時45分～11時50分)大場小学校で4年生及び6年生児童向けの避難所運営ゲーム訓練(HUG) ・参加者は、小学4年生の19人と3班、6年生21人を3班で実施、参加者が小学生のため45分程度でトイレ休憩を入れてHUGを実施、防災士がカード読み、ゲームを進行した。最後はHUG研修の意見交換と感想等について班の代表者に簡単に説明して、HUGゲーム終了後参加者全員に備えられた防災ハンドブックを配布し、要点を説明、昨年同様によりがちなJUNIORHUGカードの使用により、理解し見やすい様子。	実施報告済
37	1	11月20日 (日)	9:30 ～ 11:30	八千代町中央公民館	八千代町中央公民館 (八千代町菅首1027)	女性学級	8名	ふれあい教室(令和4年度女性学級11月定例学習)	県西	矢野靖彦、染谷ユミ	八千代町についても、まちは半分は水害により水没する地域を抱え、地震に關しても県内各地域と同様にリスクを抱えている。そこで、もう一度自助について見つめなおすため、災害への備えの必要性について講話を行った。 ①普及啓発事業災害備蓄管理については、もう一回に大きく依存する時代ではなく自ら備える必要があること、備えは人の様態ではなく自分が本当に必要なのを見極めて備えること、備えが必要な時間、物資、量などの具体的事例などを説明した。 ②防災クラフトは新聞紙スリッパとごみ袋防着靴を紹介した。作り方を覚えるのではなく、身近にあるものを応用して災害時に活用できるようにすることを説明した。	実施報告済
38	2	11月20日 (日)	10:00 ～ 12:00	当会企画・研修部	水戸桜川市民センター		9名	救命講習	県央	染谷吉明	1)普及啓発事業 救命措置の重要性説明 15分 2)患者の状態観察、安全確認 20分 3)心臓マッサージ、気道確保、人工呼吸 40分 4)AEDの使い方 30分 5)新基準のAEDの説明 15分	実施報告済
39	1	11月25日 (金)	14:30 ～ 15:30	常陸大宮市立緑川小学校	常陸大宮市立緑川小学校校体育館	保護者	58名	防災・減災に関する研修・訓練	県北	福地壽之、船川雅明 柴田美智子、笠井常子	1. 展示、防災リュック・防災食 展示品について質問に答える 2. 災害時に家庭に必要な事 ・危険箇所を調べる ・災害時の避難先・連絡先、連絡方法について語り合う 3. 災害時のトイレについて ・災害時に必要なものについて 4. 新聞紙スリッパの作成	実施報告済
40	1	11月27日 (日)	9:00 ～ 12:00	結城市防災安全課	結城市生涯運動公園	自治体	20名	令和4年度結城市総合防災訓練	県西	加藤孝雄	1)大規模災害への備えとして、異常気象による災害、地震のメカニズム、東日本大震災緊急地震速報、土地の成り立ちを知る。茨城県地震被害想定調査報告書、地域の防災組織と活動まとめとして正常性バイアス、排他性バイアス、同調性バイアス等を講義した。配布資料として、茨城新聞・茨城放送共著の「防災ハンドブック」20部提供したほか、両会場で防災防災士は、別グループを6名程度(認証者)編成し、シミュレーション訓練を行なった同人が話が合った。	実施報告済
41	1	11月27日 (日)	8:00 ～ 10:00	下妻市消防交通課	下妻中学校 下妻小学校 上妻小学校 郷上小学校	地域自治組織	140名	下妻市消防訓練	県西	安藤正好、矢野靖彦 笠野浩治、松田健章 青木美千代、染谷ユミ 小田切華子、鶴見悦子	巨大地震が発生したことに伴い、地域住民の避難する避難所4箇所において、除扉・ポールベットの組み立て指導及び、防災に関する全般的な準備について15分程度の講話を行った。 まずは含む担当から、避難所担当の市職員にも細かいレクチャーは行わず、即実践することにより今後の糧となるように初の試みを行ったこと。これを皮切りに、防災士会からの講話の内容として、避難した方々に対し、事前準備の必要性、避難経路の確認など自動的必要性を訴える内容とした。	実施報告済

42	1	12月2日(金)	14:45～16:00	空間教育委員会	結城市鹿野運動公園	教職員	15名	防災講演	県央	加瀬孝雄、相羽晴子	2	「大規模災害に備える」として、世界の異常気象、東日本震災(大川小敷利事例)、台風19号愛知県地震被害認定調査報告書、コロナ禍の避難所について、講演を行った。台風19号では、50年振りの大災害、NHKシニアポニー及び那珂川の現状(国土交通省関東地方整備局資料から、PPTを用い、説明した。コロナ禍の避難所では、企画研修部(同防災士)作成のPPT機能を利用した説明を利用した。	実施報告済
43	4	12月10日(土)	15:30～17:30	茨城放送局	古河市コスモスプラザ(茨城放送局BS) LuckyFMリスナー	茨城放送局(BS)		防災の力(茨城放送番組収録)	県西	矢野靖彦、染野ユミ	2	茨城放送で令和5年1月に放送される、防災をテーマとした番組に出演依頼あり、県西エリアでは「備蓄品と防災食」というテーマで4回(1回10分程度)分を一度に収録することとなったものであります。11月10日の打ち合わせで、防災士会の目指す自衛についてお話をさせていただき、防災士の紹介も含め全5回分の収録を行うこととなりました。茨城放送中氏より、最終質問書を受け取り、染野防災士がほとんどの原稿を作成し、支那にて追加収録し、本書に組みました。特別収録当日はディレクターの音響さんとの掛け合い形式で収録が行われ、染野さんの流暢な話し言葉と音響さんの良きで、収録は順調に済み、事前に染野さんがしっかりと考え原稿を作成していたこともその要因です。	実施報告済
44	3	12月18日(日)	9:00～12:00	古河市第10地区コミュニティ	古河市女沼公民館(古河市女沼1666-2)	地域自治組織	40名	古河市第10地区コミュニティ防災講座	県西	矢野靖彦、松田義章、青木美千代、鶴野悦子、小田切孝子	6	第10地区コミュニティ地域住民に対し、自衛を中心とした防災講座を開催した。 ①DVD視聴 迫りくる大震災にどう立ち向かうかを上映し、釜石の奇跡を紹介し、古河小学校の事例を紹介し、自衛と防災について話をした。 ②座学 災害備蓄管理について説明し、個人個人の状況に応じ取捨選択して準備することを伝えた。 ③ワークシヨップ 防災バッグ作りを実施し、それぞれの置かれた立場で準備することを経験できた。	実施報告済
45	1	令和5年1月22日(日)	14:00～16:10	茨城県防災・危機管理課 ほうさい大学(古河会場)	野本電設工業コスモスプラザ(古河市役所三和庁舎3階) 古河市に達2065	一般者	90名	令和4年度 茨城県ほうさい大学(古河会場)	県西	矢野靖彦、松田義章、青木美千代、鶴野悦子、小田切孝子	7	いばらき防災大学のプログラムの一環で「気象庁ワークショップ」が実施された。防災士の役割は、情報を広める「ファシリテーター」に掛け合いながら説明を行う専門的な立場で、受講生に対し気象状況の説明、避難のタイミングに関すること、迫りくる災害への対処のポイントなどの説明を行った。また、参加者への資料配布や質疑応答なども合わせて実施した。	実施報告済
46	1	令和5年1月22日(日)	15:20～16:20	日立市役所総務部防災対策課	日立市役所503.504会議室	一般者	54名	令和4年度日立市防災士養成講座	県北	小川欽也	1	令和4年度日立市防災士養成講座で「防災士の役割」について講演。講演内容は従来の「いばらき防災大学」の「防災士の役割と活動内容の紹介」に主催者の希望に合わせて女性防災士に期待される事項を加えて講演した。 1. 最近の災害 2. 大事件が失われる前に 3. 防災士とは 4. 茨城防災士会の組織 5. 活動内容の紹介 6. 参考(災害対応力を強化する女性の視点など)	実施報告済
47	1	令和5年1月23日(月)	15:30～16:30	水戸市解放学級・放課後こども教室運営生涯学習俱楽部	水戸市立上大野小学校(住所:水戸市東大野106-1)	生徒、教職員	34名	児童及び管理者等に対する地震対応(教室から避難場所まで)	県央	加瀬孝雄、後藤良男、小杉 達	3	小学校内教室からグラウンドまでの避難経路、安全確認、避難場所(グラウンド)第二避難場所等の訓練計画書の作成依頼があり、同計画書に基づき、訓練を行った。教室内では、落下しない、転倒、移動してこない安全な場所の確認、避難場所までの経路安全確認、誘導者が下駄箱、通路等の安全確保・確認、名簿所持、緊急時の携帯、役割分担を点検・確認しながら行った。地震警報音を利用し、本書に購入した。教室では、ダンゴムシポーズで対応した。	実施報告済
48	1	令和5年1月26日(木)	10:00～12:00	土浦市こども未来部保育課	土浦市新治地区公民館(土浦市藤沢922)	公民館放課後児童クラブ支援員及び補助員	32名	令和4年度放課後児童クラブ支援員等研修会	県南央	野澤明弘、横田信子、松井秀夫	3	土浦市内小学校(11校)の放課後児童クラブ支援員に対して防災・防犯意識向上について講義した。 ① 防災・防犯の重要性について ② 地震、火災、竜巻等の突発災害の避難方法について ③ 本書への対応について ④ その他、児童の安全確保対策について ⑤ 新聞紙による簡易スリッパ作成	実施報告済
49	1	令和5年1月26日(木)	16:00～16:45	水戸市解放学級・放課後こども教室運営生涯学習俱楽部	水戸市立下野小学校(住所:水戸市塩崎町866)	生徒、教職員	34名	児童及び管理者等に対する地震対応(教室から避難場所まで)	県央	加瀬孝雄	1	小学校内教室からグラウンドまでの避難経路、安全確認、避難場所(グラウンド)第二避難場所等の訓練計画書の作成依頼があり、同計画書に基づき、訓練を行った。教室内では、落下しない、転倒、移動してこない安全な場所の確認、避難場所までの経路安全確認、誘導者が下駄箱、通路等の安全確保・確認、名簿所持、緊急時の携帯、役割分担を点検・確認しながら行った。地震警報音を利用し、本書に購入した。教室では、ダンゴムシポーズで対応した。	実施報告済
50	1	令和5年1月30日(月)	15:00～16:30	水戸市解放学級・放課後こども教室運営生涯学習俱楽部	水戸市立稲荷第一小学校	生徒、教職員	90名	児童及び管理者等に対する地震対応(教室から避難場所まで)	県央	加瀬孝雄、相羽晴子、南波三千代	1	小学校内教室からグラウンドまでの避難経路、安全確認、避難場所(グラウンド)第二避難場所等の訓練計画書の作成依頼があり、同計画書に基づき、訓練を行った。教室内では、落下しない、転倒、移動してこない安全な場所の確認、避難場所までの経路安全確認、誘導者が下駄箱、通路等の安全確保・確認、名簿所持、緊急時の携帯、役割分担を点検・確認しながら行った。地震警報音を利用し、本書に購入した。教室では、ダンゴムシポーズで対応した。	実施報告済
51	1	令和5年2月6日(月)	15:00～15:30	水戸市解放学級・放課後こども教室運営生涯学習俱楽部	水戸市立三の丸小学校 放課後教室	生徒、教職員	55名	児童及び管理者等に対する地震対応(教室から避難場所まで)	県央	加瀬孝雄、柴田祐美子	2	小学校内教室からグラウンドまでの避難経路、安全確認、避難場所(グラウンド)第二避難場所等の訓練計画書の作成依頼があり、同計画書に基づき、訓練を行った。教室内では、落下しない、転倒、移動してこない安全な場所の確認、避難場所までの経路安全確認、誘導者が下駄箱、通路等の安全確保・確認、名簿所持、緊急時の携帯、役割分担を点検・確認しながら行った。地震警報音を利用し、本書に購入した。教室では、ダンゴムシポーズで対応した。	実施報告済
52	1	令和5年2月10日(金)	13:30～15:30	結城市立江川小学校 家庭教育学級	結城市立江川小学校	保護者	2名	第4回学習会 災害に備える	県西	矢野靖彦	1	大震災警報が発令され、イベントは中止となりました。しかし、今まで準備した資料がある事、担当者と一緒に打ち合わせた内容を参加者へ伝えたいとことで講義内容をビデオ撮影し、参加予定者だった人に印刷した資料と共に配信することになりました。講演内容として、地域の災害リスクの紹介を行い、大きな災害に見えないことを第一に伝えました。第二に災害に備えるには自助が大切であること、そして自分の家が助かれば共に共に災害を乗り越える必要があることを伝えました。そして、自助のために備えるべき備蓄品について自ら備える一人一人に必要なものを揃えていなければならないことを伝えました。天候悪化のため主催者から中止の連絡を受けました。仕方ないことではありますが、今回のように予備を置いていたこと、参加予定者に配信していただけたことはとてもうれしかったです。今後のイベントの打ち合わせ時には、天候悪化等、中止の場合も見据えた対策も一緒に考える必要があります。	実施報告済
53	1	令和5年2月12日(日)	14:10～15:10	茨城県防災・危機管理課 ほうさい大学(古河会場)	野本電設工業コスモスプラザ(古河市役所古向庁舎3階) 古河市に達2065	一般者	90名	令和4年度 茨城県ほうさい大学(古河会場)	県西	加瀬孝雄、吉田 洋	2	令和4年度ほうさい大学(古河会場)において「防災士の役割」の講話。 内容 1. 講話 加瀬理事長 2. 講話 吉田防災士パワーポイントを使用し、「防災士の役割と活動内容の紹介」を講話。 1. 最近の災害 2. 防災白書(平成30年～令和4年) 3. 防災士とは 4. 茨城防災士会の組織 5. 活動内容の紹介 パワーポイント資料については、毎年資料データ等の見直し、更新、修正が必要ですが、特に、防災士の活動内容を分かりやすく説明しました。受講生は、真摯に講義を受けていました。	実施報告済
54	1	令和5年2月13日(月)	16:15～17:00	水戸市解放学級・放課後こども教室運営生涯学習俱楽部	水戸市立大塚小学校	生徒、教職員	35名	児童及び管理者等に対する地震対応(教室から避難場所まで)	県央	加瀬孝雄、相羽晴子、野上大介	3	小学校内教室からグラウンドまでの避難経路、安全確認、避難場所(グラウンド)第二避難場所等の訓練計画書の作成依頼があり、同計画書に基づき、訓練を行った。教室内では、落下しない、転倒、移動してこない安全な場所の確認、避難場所までの経路安全確認、誘導者が下駄箱、通路等の安全確保・確認、名簿所持、緊急時の携帯、役割分担を点検・確認しながら行った。地震警報音を利用し、本書に購入した。教室では、ダンゴムシポーズで対応した。	実施報告済
55	3	令和5年2月19日(日)	13:30～15:00	阿見第一ふれあい地区館事務局	阿見町開戸公民堂	地区住民	20名	開戸地区出前講座「防災教室」	県南央	横田信子、松井秀夫	2	「阿見町開戸地区住民に対しての出前講座」防災教室講演です。～災害から命を守るために～ みんなで考える防災教室(1)上のタイトルで台風・洪水・土砂災害・地震についてPPTで説明をした。(2)地域代表者による防災バッグを準備している物産説明しました。また、新着のエリアへの地震被害、浸水及び災害についての住民に対しての証と防災食準備入っている物資を説明しました。	実施報告済

56	1	令和5年 2月20日 (月)	15:00 ～ 16:30	水戸市解放学級・放課後こども 教室運営生涯学習倶楽部	水戸市立稲荷第二小 学校	生徒、教職員	70名	児童及び管理者等に対する地震 対応(教室から避難場所まで)	県央	加藤孝雄、相場晴子 横田信子、野澤明弘	4	小学校内教室からグラウンドまでの避難誘導・安全確認・避難場所(グラウンド)第二 避難場所等の訓練計画書の作成依頼があり、同計画書に基づき訓練を行った。教 室内では、落下しない、転倒、移動してこない安全な場所の確認、避難場所まで の経路安全確認、誘導者が下駄箱、通路等の安全確保・確認、名簿所持、教 念箱の携帯、役割分担を点検・確認しながら行った。地震警報音を利用し、本番に 備え行った。教室では、ダンゴムシポーズで対応した。	実施報告済
57	1	令和5年 2月20日 (月)	16:00 ～ 17:00	水戸市解放学級・放課後こども 教室運営生涯学習倶楽部	水戸市立城東小 学校	生徒、教職員	50名	児童及び管理者等に対する地震 対応(教室から避難場所まで)	県央	加藤孝雄、相場晴子 横田信子、野澤明弘	4	小学校内教室からグラウンドまでの避難誘導・安全確認・避難場所(グラウンド)第二 避難場所等の訓練計画書の作成依頼があり、同計画書に基づき訓練を行った。教 室内では、落下しない、転倒、移動してこない安全な場所の確認、避難場所まで の経路安全確認、誘導者が下駄箱、通路等の安全確保・確認、名簿所持、教 念箱の携帯、役割分担を点検・確認しながら行った。地震警報音を利用し、本番に 備え行った。教室では、ダンゴムシポーズで対応した。	実施報告済
58	1	令和5年 2月21日 (火)	13:30 ～ 15:30	土浦市まちづくり市民会議	土浦市新治地区公民 館 (土浦市藤沢982)	各地区市民委員 会安全部・一般嘉 集(市内住民)	15名	まちづくり市民会議 安全部事業 防災ワークショップ～HUGを体 験しよう～	県南央	内田一久、松井秀夫 横山松夫、林 昌子 藤長文明、野澤明弘 井出隆一、荒谷 修	8	・避難所運営ゲームを行った。(メイン講師:内田講師) 当初30名の参加の予定でしたが、半分の人数となりました。最初、カード の読み手も不慣れのため、思うように進まなかったように思いました。しかし ながら、参加者お一人お一人の真剣に取り組んでいた。内田講師も事前に十分 HUGについて勉強してきていてスムーズに講義が出来たと思います。平日にもか かわらず、多くの防災士参加に感謝します。	実施報告済
59	1	令和5年 2月27日 (月)	15:00 ～ 15:30	水戸市解放学級・放課後こども 教室運営生涯学習倶楽部	水戸市立百田小 学校	生徒、教職員	76名	児童及び管理者等に対する地震 対応(教室から避難場所まで)	県央	加藤孝雄、浅野秀慶	2	小学校内教室からグラウンドまでの避難誘導・安全確認・避難場所(グラウンド)第二 避難場所等の訓練計画書の作成依頼があり、同計画書に基づき訓練を行った。教 室内では、落下しない、転倒、移動してこない安全な場所の確認、避難場所まで の経路安全確認、誘導者が下駄箱、通路等の安全確保・確認、名簿所持、教 念箱の携帯、役割分担を点検・確認しながら行った。地震警報音を利用し、本番に 備え行った。教室では、ダンゴムシポーズで対応した。	実施報告済
60	1	令和5年 3月 1日 (水)	14:00 ～ 14:30	水戸市解放学級・放課後こども 教室運営生涯学習倶楽部	水戸市立百田小 学校	生徒、教職員	100名	児童及び管理者等に対する地震 対応(教室から避難場所まで)	県央	相場晴子、渡辺 平	3	小学校内教室からグラウンドまでの避難誘導・安全確認・避難場所(グラウンド)第二 避難場所等の訓練計画書の作成依頼があり、同計画書に基づき訓練を行った。教 室内では、落下しない、転倒、移動してこない安全な場所の確認、避難場所まで の経路安全確認、誘導者が下駄箱、通路等の安全確保・確認、名簿所持、教 念箱の携帯、役割分担を点検・確認しながら行った。地震警報音を利用し、本番に 備え行った。教室では、ダンゴムシポーズで対応した。	実施報告済
61	1	令和5年 3月 4日 (土)	10:00 ～ 12:00	土浦市社会福祉協会	土浦市郷和公民館 (土浦市並木5-4824- 1)	市内在住	30名	ボランティア入門講座	県南央	吉田 洋、松井秀夫 横山松夫、野澤明弘 廣子貴彦	5	1)ボランティア入門講座として(吉田講師による)自然災害から身を守る～地震・ 大雨・洪水・土砂災害から自らの命は自ら守る～というタイトルでの防災講座をし ました。地域より参加者は、真剣に聞いていました。 2)各2グループに分かれての段ボールベッドを作成初めに作成するという参加者 でベッドの上で寝てみて丈夫でびっくりして。 3)新聞紙での高層スリッパ作成を行いました。やり方にてこずっていた方も見受け られましたが、協力者の助けもあり参加者皆さんが、楽しく防災講座が出来ました。 実施報告済	
62	1	令和5年 3月 5日 (日)	14:00 ～ 15:30	茨城新聞社	下妻イオン2階フード コート			地域の防災活動に関する特集の 取材	県西	矢野隼彦、染野ユミ	2	3・11より12年が経過し、ハード面の整備は進んでいるがソフト面の対策につい ては風化が進んでいる。また、3年前に家やコトナ園よりさらに風化が進んでいる とみられるが、これらを検証し改めて読者に考えてもらう記事を掲載したい。 3・11以来、防災の意識は高まっていると思われるが、災害の対応方法も進化し てきている。しかし、コロナ禍によりイベントなどが中止され、人がつながらなくて 済む社会になってしまったことが風化に繋がっていると思われる。 人との繋がりはSNS全盛の現代であっても大切な事であり、災害の教訓や対応は この繋がりが生きていくことが大切である。 今後の我々の活動の中で、形式的なことではなく、当たり前のことを繰り返し伝 えていくことが今後の課題と考える。 実施報告済	